

1年道徳教育全体計画（別葉） 各教科との関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
A 節度、節制	前【学】運動場での遊び方を考えよう 道具の使い方を学び、わがままをしないで安全に遊ぶことができるようにする。	【道】ふたりのゆうた わがままをしないで、規則正しい生活をしようとするための判断力を育てる。 後【学】雨の日の過ごし方 約束を守ることが安全な生活につながっていると気付けるようにする。				【道】かぼちゃのつる わがままや自分勝手な行動を慣れずとする心情を育てる。 後【学】みんなの約束 安全な生活をする上では、自分勝手な行動をしないで、きまりを守ることが大切であると気付けるようにする。	後【体】自由遊び 繰り返し場面指導を行うことで、わがままをしないで過ごそうとする意識を高める。				前【学】かぜの予防 健康のために気を付けながら生活していくことの大切さに気付けるようにする。	【道】休みにかん 先のことよく考えながら、安全に気を付けて行動しようとするための判断力を育てる。 後【生】もぐずぐず2年生 1年間の振り返りや2年生になることに期待をもたせることを通して、より一層節度をもちて生活していくこととする気持ち高める。	
B 礼儀	前【生】がっこうたいすきあいさお 学校の1日の生活の流れについて学習する中で、友達や地域の方にあいさつすることの大切さを知る。	【道】あいさつのあるいちにち 気持ちのよいあいさつをしようとする心情を育てる。 後【生】いぐぞ！がっこうたんけんたい 学校探検で先生たちにあいさつすることを通して、あいさつの気持ちよさや大切さに気付かせる。					前【行】生活科校外学習 事前指導で、お世話になる施設の人へのあいさつや振る舞いについて指導する。 【道】どちらがいいかな 気持ちのよいあいさつや振る舞いをしようとする態度を育てる。 後【行】生活科校外学習 校外学習の中で、施設の人への気持ちのよいあいさつや振る舞いが実践できるように声を掛ける。						

- 【別葉作成手順】
- ① 本校の道徳教育重点目標を確認する。
 - ② 児童の実態、家庭や地域社会、教師の願いを把握する。
(アンケートの活用など)
 - ③ ①②を基に、学年ごとに重点内容を設定する。
 - ④ 重点内容項目と関わりのある道徳教材をピックアップする。
 - ⑤ 関連する行事や教科等とユニットを組み、別葉に明記する。

重点内容項目	関わりのある道徳教材				
A 節度、節制	3 ふたりのゆうた	7 あとがたづけ	15 かぼちゃのつる	31 休みにかん	
B 礼儀	5 あいさつのあるいちにち	17 どちらがいいかな			